

約1年間の学び（日本語・介護用語） - ベトナム

3年間の学び（日本語・介護技能） - 日本

8カ月～11カ月 日本語の修得

1カ月 オリエンテーション及び事前

1～2カ月 基礎知識の修得（座学）

1年目 現場での実践・基礎知識の修得

2年・3年目 専門知識の確立・最終成果

**日本語教育**

初めて日本語を学ぶ学生が多いことから、基本的な日本語が理解できるよう、ベーシック日本語、聴解、読解などを学びます。この段階においては、主に読む、聞く、この二つの学習を中心に、日本語能力試験N4を取得するための日本語を学びます。

また、日本語能力試験N4取得後は、日本での実習に備えるための日本語能力試験N3相当の日本語も学びます。

**日本の文化・慣習教育**

ベーシック日本語教育を行うと同時に、日本の文化・慣習に関する基本的知識を学びます。

**介護用語教育**

日本語能力試験N4取得後、日本での実習に備え、介護用語の学習を行います。

初めて介護を学ぶ実習生にとって介護用語は専門的な言葉が多く、理解するまで時間を要することから、基本的な介護用語を学びます。

**オリエンテーション及び出国準備**

日本での実習に当り、修得すべき基本的事項について学びます。技能実習生としての身だしなみ、心構え、接遇、ビジネスマナーなど日本で健全に暮らす・働くための知識を習得します。

**日本語教育**

技能実習生に必要な日本語とは何かを考え、総合日本語、聴解、読解、会話、作文など日本で健全に暮らす・働くための日本語を学びます。また、技能等の修得のため必要不可欠な介護の日本語も学びます。

**介護技能教育**

コミュニケーション技術や介護援助技術（移動、食事、排泄、入浴・身体の清潔、衣服の着脱）の修得を行います。座学期間中、これらの学習を通して、日本における介護の本質を理解し、利用者本位の介護

**現場での実践**

一定期間の座学実施後、各現場を体験し、日本における介護とは何かについてより理解を深めます。現場での実践を通して利用者の日常生活を支援する立場としての介護職のあり方について学びます。また、より安全に介護できる専門知識や技術を学びます。

**2年目への移行をスムーズに！**

2年目への移行に向けて日本語補講学習や技能検定試験対策を技能実習実施機関と共に進めます。

**現場での学びをより深く！**

利用者の状態を十分理解した上で、どのような介護（支援）が必要かを判断する能力を身につけます。「認知症の介護と支援」、「障害者の介護と支援」などのように、より専門的な知識を必要とする対象の介護について学びを深めると同時に、2年間実践した介護技術の確立に向けて学習を行います。

**3年目への移行・介護福祉士試験対策を！**

2年目への移行に向けて日本語補講学習や技能検定試験対策を技能実習実施機関と共に進めます。

座学期間中の日本語教育＋介護教育の実施！

◆ 日本語教育

教育内容	時間
総合日本語	100 (90)
聴解	20 (18)
読解	13 (11)
文字	27 (24)
発音	7 (6)
会話	27 (24)
作文	6 (5)
介護の日本語	40 (36)
合計	240 (214)

◆ その他教育

- ① 本邦での生活一般に関する知識
- ② 技能実習生の法的保護に必要な情報
- ③ 介護職としての心構え・接遇・介護倫理
- ④ ビジネスマナー

◆ 介護教育

教育内容	時間
介護の基本Ⅰ・Ⅱ	6
コミュニケーション技術	6
移動の介護	6
食事の介護	6
排泄の介護	6
衣服の着脱の介護	6
入浴・身体の清潔の介護	6
合計	42

座学期間中

1日8時間、1カ月～2カ月間  
基本教育（日本語・介護・その他）  
による知識の習得！  
各現場で自信を持って働ける  
人材の育成を目指す！

座学期間終了後

各所属施設（実習実施機関）  
にて介護実習開始！

★ **ポイント1**

日本全国の協同組合（約3万6000社以上）の中で、唯一締結成立！  
送出し機関は、ベトナム政府運営の非営利団体！  
ベトナム国労働傷病兵社会省（MOLISA）の管理・運営機関だからこそ、  
日本、ベトナム両国において、管理体制・サポート充実、安心できる仕組み！

★ **ポイント2**

日本語教育の実施・監督は、4年制ハノイ現地大学にて実施！  
各大学の日本語学部の教授らの監修の下で行われるため、何より安心！  
最大11カ月の日本語教育により、実習生の日本語レベルも安定！